

奈良県障害者雇用促進ジャーナル

はたらく

2019.9

No.12



障害者雇用の取組紹介 なんとチャレンジド株式会社

奈良県障害理解促進DVD等完成

特別支援学校 奈良県立二階堂養護学校

奈良県大芸術祭・奈良県障害者大芸術祭

福祉事業所レストラン

農福連携マルシェ報告

奈良県 奈良労働局

(障害者施設で作成しました)

障害者雇用の取組紹介 Vol.11

なんとチャレンジド株式会社

地域の経済発展も、社会貢献も。

1



なんとチャレンジド株式会社

奈良県障害理解促進DVD等完成

DVD及びテキスト内容情報のご案内

まほろば「あいサポート運動」とは

5

特別支援学校 Vol.9

奈良県立二階堂養護学校

6



奈良県立二階堂養護学校

奈良県大芸術祭・奈良県障害者大芸術祭

文化の力で奈良を元気に! -NARA ARTS FESTIVAL-

8

福祉事業所レストラン Vol.10

まちのカフェ VIVO

農福連携マルシェ報告

「農業×福祉」連携イベント開催!!

9



まちのカフェ VIVO

「奈良県障害者雇用促進ジャーナル」は、県内の企業や経済・労働団体等の皆様に、障害者雇用施策や障害者雇用に関する制度、障害者雇用に関する先進事例などを紹介し、障害者雇用に関する様々な情報を共有していただくことができるよう、奈良県と奈良労働局が共同で発行しています。

このジャーナルを通じて、障害のある人が一人でも多く就労し、働き続けるための一助となることを期待しています。

是非ともご一読いただきまして、奈良県における障害者雇用の推進に、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なんとチャレンジド株式会社



地域の経済発展も、社会貢献も。

今年2月のこと。奈良県で2例目となる特例子会社として「なんとチャレンジド株式会社」が認可されました。特例子会社とは、障害者の雇用を促進するために企業が設立した子会社のうち、一定の基準(次ページ下参照)を満たした会社を、国が認定したものです。同社は、昨年8月に株式会社南都銀行が100%出資し設立、10月から事業を開始しており、当初から目指していた特例子会社としての発足が実現しました。その経緯や現在の様子を伺いました。



なんとチャレンジド株式会社の外観

リーディングカンパニーの
CSR

南都銀行は、県内の企業のメインバンクとしては6割を超えるシェアを有する圧倒的な存在感のある地方銀行です。

障害者雇用は、これまでも南都銀行として、身体障害、聴覚障害のある方などの雇用は行われてきました。またグループ会社の南都ビジネスサービス株式会社(以下南都ビジネスサービス)では、10年前から毎年1〜2名、特別支援学校生徒の職場実習を受け入れてきました。

そんな南都銀行グループが、新たに特例子会社の設立を検討し始めたのは、奈良県の障害者雇用率が全国



南都銀行事務センター内に設置された「なんとチャレンジ株式会社」前に立つ西上浩史代表取締役(左)、柳原啓祐課長(中)、野村真史部長(右)。常時400余名が従事している事務センター内には、南都ビジネスサービスの実習生が出入りしてきたこともあり、障害のある人とともに働く意識は浸透しているという。

1位となった頃のこと。奈良労働局発表の「平成29年の障害者雇用状況」によると、奈良県内民間企業の障害者雇用率は、2・62%（前年比0・02ポイント増）と過去最高を更新し、2年連続で全国1位。しかし、特例子会社に限ってみると1社のみでした。

このような気運や社会的ニーズの中、CSRの観点から、これまで採用されてこなかった知的障害者を含め障害者雇用をさらに進めるために設立されたのが「なんとチャレンジ株式会社」（以下なんとチャレンジ）であり、奈良市南京終町にある南都

設立に至る道のり

銀行事務センターの建物内に設置されました。同センター内には現在、南都ビジネスサービスやなんとチャレンジを含む複数の部と会社が入っています。

特例子会社設立にあたっては、奈良県の支援によるコンサルティング会社のアドバイスを受けたり、他県の銀行系の特例子会社を見学し参考にしながら進められました。グループ内の業務の中から障害のある人に適した業務を切り分け、特例子会社に

集める調整も行われました。

社長に抜擢されたのは、営業店の支店長等を歴任し平成29年から南都ビジネスサービス代表取締役を務めていた西上浩史氏。南都ビジネスサービスは、南都銀行グループの事務的バックアップ業務を受託する会社で、西上氏は業務の連携関係がある二つの会社の代表を兼任されました。

「営業に携わり奈良県の中小企業さんを身近に見てきてよくわかるのですが、実に一生懸命に障害者雇用に取り組まれてる所があるんですよ。やはり我々南都銀行も、経済発展への貢献はもちろんです。奈良県における一つの地元企業としてリーダー役という大層ですが、社会にも貢献しなければという思いはありますね」。

関係機関との対話と実習受け入れでの経験値

とは言え特例子会社として本格的に障害者雇用をするのは初めてのことで。「お恥ずかしい話ですが」と謙遜しつつ、関係機関との綿密な情報交換ができたことで実現できたということです。

特例子会社に認定されるための主な要件

- 親会社が、当該子会社の意思決定機関(株主総会等)を支配していること。(具体的には、子会社の議決権の過半数を有すること等)
- 雇用される障害者が5人以上で、全従業員に占める割合が20%以上であること。また、雇用される障害者に占める重度身体障害者、知的障害者及び精神障害者の割合が30%以上であること。
- 障害者の雇用管理を適正に行うに足りる能力を有していること。(具体的には、障害者のための施設の改善、専任の指導員の配置等)
- その他、障害者の雇用の促進及び安定が確実に達成されると認められること。

厚生労働省ホームページより



「奈良県のリーディングカンパニーのCSRとして、知的障害者雇用も広げていきたい」と語る西上氏(左)と野村氏(右)



【チャレンジド社員の仕事】手形・小切手発行業務
 プリントアウトされた手形に間違いや汚れがないかをチェックし、ホチキス留めして背表紙をつける。

「三十数年ご融資や相続のご相談を受けたり、個人のお客様への資産運用に関する仕事ばかりしてきましたので、障害福祉についてはまだまだ不勉強な状態でのスタートでした。県立特別支援学校、高等技術専門学校、また就労支援機関から様々なアドバイスをいただいで、ようやくここまで来た状況です。チャレンジド社員（障害のある社員を同社ではこう呼んでいます）は、在学中に実習に来ていただいた経験を活かしていただけるよう実習に来ていた方から採用しています」。

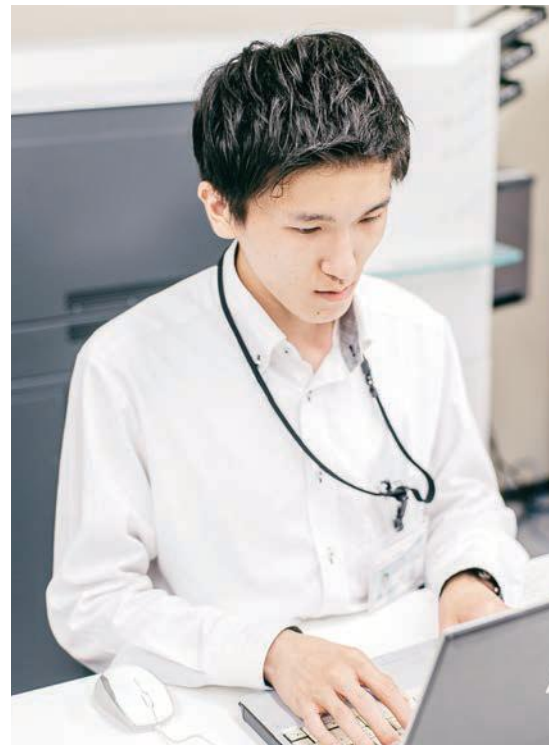
また、西上氏が2社の代表を兼務することが、業務の遂行に幸いしています。事業開始のための大きな要素

である従業員集めでは、南都ビジネスから適した4人のパート職員をヘッドハンティングしました。「全く白紙の状態からスタートするとするとハードルが高いですが、南都ビジネスサービスが実習を受け入れ、障害のある方に対する対応の仕方を見てきたことは大きいです」。

職場の特化は合理的配慮がしやすい

特例子会社化することは、職場での合理的配慮がしやすく、チャレンジド社員にとつて働きやすい職場を作ることができると思います。

「例えば、大勢の中に精神に障害の



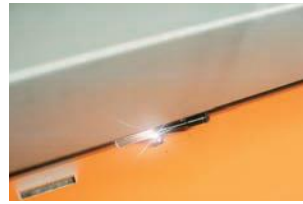
【チャレンジド社員の仕事】データ入力業務
 顧客からのアンケート結果の入力も行う。アビリンピック（障害のある人の職業能力の向上を図るとともに、障害者雇用の促進を図ることを目的とした全国障害者技能競技大会）のワード・プロセッサ部門奈良県代表経験者も在籍している。

ある方が一人おられたとして、その方だけが一時間おきに10分休憩しなければならぬとします。それを本で行うとなると、実際のところ困難な面があることは否めないのです。当社のように業務を切り出して体制を特化することは、企業側の論理だけでなく当事者の方にとつても安心してもらえないのではと思います。失敗を恐れずに挑戦できる環境があることで、自閉傾向だった人が内線電話を取れるようになったそうです。

学校の先生は大切な相談相手

チャレンジド社員の育成は、これか





【チャレンジド社員の仕事】ゴム印作成業務
印字部分の作成と木部への貼り付け。細かい作業です。



【チャレンジド社員の仕事】用度品管理発送業務
事務用品や販促物などあらゆる用度品をピッキングして集め、発送する。

らが本番です。
「当社では、ジョブコーチは配置していませんが、設立以前からお世話になっている学校の先生方は、大切な相談相手です。実習後のフォローアップや定期的な訪問もして下さるし、電話で元生徒のことを質問もします。実習中に把握できなかった状況が見えた場合など、何かあれば先生に相談していきまして、申し訳ないなど感じるほどです。長年

様々なご経験を積んでおられるだけに、考え方や実践の方法等そのアドバイスは適切で、勝手にこちらが思っているだけでも知れませんが、外部ジョブコーチ的な存在として本当に助かっております」と西上氏。
また、親身になって接することのできる従業員の存在も、大きく貢献しています。「パートさんには指導員という役割を担って頂いており、ビジネスマンとしてのみならず、社会人として日常生活の中でのことも指導してください」（野村氏）」と、信頼を寄せています。

「今後は、雇用の拡大をしていく計画ですが、雇用率アップという数字を追うのではなく、あくまでも事業内容の拡充に応じて、チャレンジド社員が可能性に挑戦できることや、働きやすさを考慮しながら、指導員のスキルアップも含めて行っていく考えです。いずれは一般からの仕事も請負えるようにとの展望もあります」。

与えるもの 受け取るもの

最後に。取材を終えて、エレベーターに乗りかけた時のこと。背後から取材チームへ、チャレンジド社員か

らの元気な挨拶が聞こえてきました。案内して下さっていた西上氏は、インタビュー時とは違った和らいだ雰囲気の中「この会社は年配の方が多いで、あの元気な挨拶は職場に活力を与えてくれているんですよ」と、ありのままの実感がこもっていました。
支援する側も、される側から受け取るものがあることでしょう。同社の風土が生まれつつあることが感じられました。

なんとチャレンジド株式会社

〒630-8141
奈良市南京終町1-93-2
TEL 0742-50-2130

設立：平成30年8月24日
事業内容：手形・小切手帳発行業務、名刺作成業務、用度品管理発送業務、ゴム印作成業務、郵送業務、データ入力業務 など
従業員数：14名(内、障がいのある者8名)

奈良県障害理解促進DVD等完成



奈良県障害理解促進DVD及びテキストは県民の方への障害理解を促進するため、障害当事者の方や障害者団体、関係者団体等の協力を得て、平成31年3月に作成しました。

DVDは全ての映像に手話通訳と字幕入りです。副音声への切り替えも可能です。

撮影場所は県内、出演者も県に関係する方で構成しています。県独自の取組も紹介しています。

ストーリー仕立てで飽きずに学習出来ます。チャプター制で、内容のピンポイント学習も可能です。

DVDは2枚組です。県からの貸し出しも行っています。

テキストはDVDの内容を補完するものとして作成しています。

県障害福祉課ホームページにも動画及びテキストを公開しています。



『手話は大切な言葉です－奈良県手話言語DVD－（約25分）』



『シルコトカラ－障害を知り、共に生きる－（約85分）』



テキスト

DVD & テキスト は奈良県障害福祉課のホームページでご覧いただけます。

「あいサポート運動」とは

多様な障害の特性や障害のある方が困っていること、必要な配慮などを理解し、障害のある方に対して、ちょっとした配慮や手助けなどを実践し、障害のある方が暮らしやすい社会（共生社会）を県民とともにつくる運動です。

平成21年11月に鳥取県でスタートし、奈良県ではまほろば「あいサポート運動」として平成25年8月から推進しています。

【まほろば「あいサポート運動」のイメージ】

「あいサポート企業・団体」認定制度

あいサポート運動への取り組みを積極的に推進する企業・団体等を「あいサポート企業・団体」として認定

あいサポーター

多様な障害の特性や障害のある方が困っていること、必要な配慮などを理解し、障害のある方にちょっとした手助けや配慮をする意欲がある方であれば誰でも可

「あいサポーター研修」の実施

地域や学校、職場などの研修において、出前研修「あいサポーター研修」を実施

あいサポートメッセンジャー

「あいサポーター研修」の講師を養成

奈良県立二階堂養護学校

自分で選び経験し、自信が生まれたら「どうしたいか」が見えてくる。その気持ちを地域へ、進路へ。



青空の下、芝生グラウンドで遊ぶ児童・生徒たち

田原本町内の国道24号線沿いに昨年オープンした「道の駅レスティ唐古・鍵」。そこから、北へ800メートルほどの天理市との境界付近にあり、周囲を田んぼに囲まれて建つのが二階堂養護学校です。
レスティ唐古・鍵には、同校生徒の作品を販売している常設ブースがあります。

「つなぐつながる」方針で

二階堂養護学校には、知的障害のある小学生から高校生までの児童・生徒たちが通っています。校区が広いのが特徴で、多くは5台のスクールバスで通学します。小学部は50名、中学部41名、高等部83名です（平成31年度）。3年前に赴任した中川貴明校長は、田んぼに囲まれ近隣に民家のないロケーションを見て、「地域のつながりをどうして行くかという

ことが大きな課題だと感じた」そうです。そこで「つな



ぐつながる」を方針として、地域だけでなく、進路指導と教育現場とのつながり、学校と関係機関や企業とのつながり、学校と関係機関や企業とのつながりなど、全方面に亘って連携を意識して取り組んでいます。

レスティ唐古・鍵の例もその一つ。「田原本町が道の駅を作ろうとしているらしい」という情報を得て、学校側から田原本町に働きかけ、施設内にブースを常設できるようにになりました。ここで学校の存在をアピールでき、学習の成果発表にもなっています。

中学生から地域貢献

中学部で日常的に学習している清掃活動を、地域の中に還元するため授業の一環として、近くの幼稚園、



前列左から：中川貴明校長、久保信教頭
後列左から：進路指導部 吉野直治教諭、
進路指導部 橋本勉教諭

小学校、中学校に清掃に出向きます。また、年2回、結崎駅近くのスーパーおくやまの駐車場にテントを張らせていただき、「いらっしやいませ」と声をかけ、陶芸作品等の販売活動をしており、毎回ほぼ完売。郡山イオンのフードコートでも、テーブル等の清掃活動も行なっています。

これらを、後々の高等部での力につなげていくことを大事にしているのです。

生徒たちは、はじめから「働きたい」わけではない

高等部では、1年生から実習が始まります。ただ、「就職をするかしなにかという観点ではない」と進路指導部の吉野教諭は言います。

「なかなか、はじめから『働く意欲』を持っている生徒はいません。まずその気持ちを育てていくところからの



中川校長は、ある生徒から「実習は大変だったけど楽しかった」、そして「みんな優しくかったです」という自発的な一言を聞いて、嬉しく思ったと言う。



道の駅レスティ唐古・鍵



常設ブースには生徒の作品が並ぶ



花壇の花は生徒から寄贈されたもの

授業・年中行事



小学部：「あそび」の授業・通常学習(プール学習)



中学部：近隣スーパーでの販売学習



高等部：現場実習(左：クリーニング、右：スーパー品出し)

スタートになります。例えば電車で自分の家の最寄駅から一つ先の駅まで自分で行けること、買い物が好きならバスで行ってみること、それで一つ自信が持てるんです。

興味のあることに絡めながら、まず一歩、可能性を広げて社会に出ていき、経験を積んだところで『『こういうことができるんだ』『もしかしたら、こんなことがやれるかもしれない』、そういう気持ちを持つてもらうための取り組みを重視していますね』

働く意欲が芽生えた時も、地域や実習先に生徒たちの状況を理解してもらい取り組みを併せて行っています。近年の傾向として、「地域の理解

は大きく進んでいる」と感じるそうです。

3年生の夏休みを境に、就労可能かどうかを判断する実習が変わってきますが、それまでは体験を重視した活動をしています。体験実習との間には、もし失敗してもフィードバックしてもらえ、「会社としてはこうしよう動くよ」「学校としてはこうします」といった信頼関係が日常的にあります。フィードバックは、現場の担任の先生を通して学習に取り入れられます。

実習先は奈良県全域に及び、開校の昭和62年以降、「先輩の先生方が積み重ねてくださった財産は大きいと思います」とのことです。

自分で選ぶ経験を

同校では、生徒の興味や動機がどこにあるのか尊重し、生徒の関心に合った職場開拓も行われています。自信を促し、意欲を育て可能性を広げる中で尊重されるのが、自己選択。それはすでに小学部時代から、「AかBか、どの遊びにする？」という風に始まっています。生徒が自分はどうしたいのかを考え自分で選べるようにするという前提が学校全体にあり、進路選択にもつながっています。学校を巣立つ生徒たちに「自分の力で生きていって欲しい」という最終的な願いがあるから」という吉野教諭の言葉が印象的でした。

就職先としては、清掃業、食品のピッキング、介護の補助などが多く、例年3〜5名が就職しています。



奈良県立二階堂養護学校

〒632-0086 天理市庵治町 358-1

TEL 0743-64-3081 FAX 0743-64-2962

<http://www.e-net.nara.jp/sns/nikaidoyougo/>

文化の力で奈良を元気に!



NARA ARTS FESTIVAL

奈良県大芸術祭

奈良県障害者大芸術祭

9月1日(日)~11月30日(土)開催!

県や芸術文化団体等が主催する「音楽」「演劇」「芸能」「舞踊」「美術」などの幅広いジャンルのイベントが奈良の秋を彩ります。障害のある方もない方も楽しめるイベントが盛りだくさん!

大芸祭・障芸祭オープニングフェスティバル

無料

申込不要

人気番組主題歌「明日への扉」や「旅立ちの日に…」で人気の「川嶋あい」や、「光のダンス」で脚光をあびた“EL SQUAD”によるスペシャルライブ、地元中学生の吹奏楽演奏などを実施!ほかにアート体験コーナーや飲食・物販等来場者が楽しめる内容が満載です。



川嶋あい



EL SQUAD

■ 五條市上野公園総合体育館(シダーアリーナ)

日時 9/1(日)13時~(12時開場) 問い合わせ先 オープニングフェスティバル事務局 (TSP 太陽(株)内) ☎ 0742-23-6420

県民きらめきステージ

無料

申込不要

芸術文化活動を行う県民が主役のステージ。音楽、ダンス、歌などさまざまなパフォーマンスが会場を彩ります。



フォーラム・NARA

~奈良の歴史文化資源の魅力に触れる~

無料

要申込

フリーアナウンサーの登坂淳一氏を招き、講演やトークセッションを行います! そのほか壺阪寺の魅力体験できる内容です!



■ イオンモール大和郡山 北小路コート

日時 9/5(木)・6(金)14時~16時頃
9/7(土)・8(日)11時~19時頃

■ イオンモール橿原 サンシャインコート

日時 9/26(木)・27(金)14時~16時頃
9/28(土)・29(日)11時~19時頃

問い合わせ先

県民きらめきステージ事務局 (インバクト(株)内)

☎ 0742-36-0007

■ 壺阪寺大講堂ほか(高取町)

日時 10/5(土)13時~

申込期間 8/1(木)~9/13(金)

※申込み多数の場合は抽選。

※壺阪寺への入場は別途拝観料が必要です。

問い合わせ先

(株)奈良新聞社企画部「フォーラム・NARA」係

☎ 0742-32-2115 (土日祝を除く9時~17時30分)



ワクラワ~障害とアートと出会い~

無料

県内外の障害のある人が制作したユニークなアートは必見

さまざまな“出会い”を楽しむ展覧会。図書情報館では県内の障害のある人の作品などを展示。文化会館では、気鋭のプロデューサーと福祉事業所の出会いから生まれた表現や、触れて鑑賞できる彫刻などを展示。

■ 奈良県立図書情報館 エントランスホール

日時 10/1(火)~6(日)9時~20時

■ 奈良県立文化会館 展示室A,B

日時 11/9(土)~15(金)9時~18時

※11/11(月)は休館

♿ 車椅子配慮有 ☎ 0570-037-690

福祉事業所 レストラン

障害のある人たちが働いている
福祉事業所が運営しているレストランを紹介します

Vol.10

まちのカフェ VIVO



まちのカフェVIVOは新大宮駅から徒歩8分、国道24号線沿いで駐車場もありとてもアクセスしやすいお店です。

店名の「VIVO」はイタリア語で「生きる」を意味し「様々な枠を超えて、自分らしく生きる喜びを感じれる空間で有りたい」と願う思いが込められています。

安心・安全な食材にこだわって作られているやさいパンやサンドイッチ。

栄養バランスも考えられており、やさしさを感ずる明るいお店です。

テイクアウトもできますのでお気軽にお越しください！

まちのカフェ VIVO

(特定非営利活動法人 Msねっと)

住所 奈良市法蓮町433番地1
グローリー新大宮1F

定休日 月曜日、土曜日、日曜日

時間 10:30~17:00

電話 0742-33-8829

アクセス 近鉄新大宮駅より徒歩8分
※駐車場有り



メニュー

やさいパン	40円
サンドイッチ	250~300円
オムライスランチ	800円
サラダ付	(ドリンク付+200円)
わらびもち	250円
ドリンク	400円
	(コーヒー・和紅茶・奈良サイダー・ジュース等)

オリジナルやさいパンの
サンドイッチ



※価格は消費税込み

農福連携マルシェを開催しました



農福連携マルシェの様子

「農業×福祉」連携イベント開催!!

「農業」と「福祉」の連携によつてできた農作物や加工品を販売するイベントとして、平成31年2月16日(土)・17日(日)にイオンモール橿原(スタアライトコート)にて、奈良県下10施設が参加し、奈良県が主催し、NPO法人奈良県社会就労事業振興センターが運営して開催しました。

障害のある人たちが、心を込めて丁寧に育てた自家栽培による生鮮野菜や手づくりの商品を数多く販売しました。



奈良県下10施設による、生鮮野菜や手づくりの商品が並びました

障害者就労支援機関

公共職業安定所

職業紹介等職業に関するあらゆる相談を行います。特に公共職業安定所には専門の職員が配置されていて、きめ細かな相談に応じています。

ハローワーク奈良	〒630-8113 奈良市法蓮町 387(奈良第3 地方合同庁舎内)	TEL 0742-36-1601 FAX 0742-36-1608
ハローワーク大和高田	〒635-8585 大和高田市池田 574-6	TEL 0745-52-5801 FAX 0745-53-4181
ハローワーク桜井	〒633-0007 桜井市外山 285-4-5	TEL 0744-45-0112 FAX 0744-45-3990
ハローワーク下市	〒638-0041 吉野郡下市町下市 2772-1	TEL 0747-52-3867 FAX 0747-52-0406
ハローワーク大和郡山	〒639-1161 大和郡山市観音寺町 168-1	TEL 0743-52-4355 FAX 0743-55-0670

障害者就業・生活支援センター

職業生活における自立を図るために就業及びこれに伴う日常生活、または社会生活上の支援を必要とする障害のある人に対し、雇用、医療・保健、福祉、教育等の関係機関との連携を図りつつ、身近な地域において必要な指導、助言その他の支援を行います。

なら障害者就業・生活支援センター コンパス	〒630-8115 奈良市大宮町 3-5-39 やまと建設第3ビル 302	TEL 0742-32-5512 FAX 0742-93-7712
なら東和障害者就業・生活支援センター たいよう	〒633-0091 桜井市桜井 232 ヤガビル 3階 302号室	TEL 0744-43-4404 FAX 0744-43-4404
なら西和障害者就業・生活支援センター ライク	〒639-1134 大和郡山市柳 2-23-2	TEL 0743-85-7702 FAX 0743-85-7703
なら中和障害者就業・生活支援センター ブリッジ	〒634-0812 橿原市今井町 2-9-19 今井長屋 1	TEL 0744-23-7176 FAX 0744-23-7181
なら南和障害者就業・生活支援センター ハロー Job	〒638-0821 吉野郡大淀町下湊 158-9	TEL 0747-54-5511 FAX 0747-54-5501

奈良障害者職業センター

障害のある人に対して、ハローワーク(公共職業安定所)と協力して、就職に向けての相談、職業能力の評価、就職前の準備訓練から、就職後の職場適応のための援助まで、個々の障害のある人の状況に応じた継続的なサービスを提供します。

奈良障害者職業センター	〒630-8014 奈良市四条大路 4-2-4	TEL 0742-34-5335 FAX 0742-34-1899
-------------	----------------------------	--------------------------------------

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構

高齢者等及び障害者の雇用に関する相談・援助、助成金の支給申請の受付、障害者雇用納付金制度に基づく申告・申請の受付、啓発等の業務を実施しています。

奈良支部	〒634-0033 橿原市城殿町 433 奈良職業能力開発促進センター(ポリテクセンター奈良)内	TEL 0744-22-5232 FAX 0744-22-5234
------	---	--------------------------------------

発行元 奈良県福祉医療部障害福祉課
〒630-8501 奈良市登大路町 30 番地
TEL 0742-27-8514 FAX 0742-22-1814

奈良労働局職業安定部職業対策課
〒630-8570 奈良市法蓮町 387 番地
奈良第3 地方合同庁舎 2 階
TEL 0742-32-0209 FAX 0742-32-0225

作成 社会福祉法人ぶろぼの
〒630-8115 奈良市大宮町 3 丁目 5-39 第3 やまと建設ビル 201 号
TEL/FAX 0742-81-7032

令和元年 9 月発行